



ニュースレター

2014（平成26）年10月31日 グリーフワークかがわ広報部

☆お知らせ☆

2014 高松市男女共同参画市民フェスティバルに「ワークショップ」と「パネル展」で参加します。
どうぞご参加ください。

ワークショップ

NPO 法人福島の子どもたち香川へおいでプロジェクトと、香川こどもといのちを守る会との
共同企画で講演会を行います。

テーマ「東日本大震災から3年半、被災地とともに歩む」

講師 岡内真理さん やまもと放射能から子どもを守る会 結 3.11 副会長

日時 11月29日（土）14:00～16:30

会場 高松市男女共同参画センター第8会議室

参加費 500円

ホームページでもご案内しております。

セミナーのご案内 http://www.griefwork.jp/main/k_seminar.html

PDF チラシ http://www.griefwork.jp/main/pdf/k_seminar17.pdf

パネル展

とき：11月19日（水）～25日（火）

会場：高松市役所1階

☆報告☆

香川県共同募金会から平成26年度先駆的・開拓的活動支援事業の助成を受け、グリーフワークかがわ
相談室の環境整備を行っています。相談室として、グリーフワークのための大切な時間を過ごされる環
境はとても重要です。おひとりでの相談はもとより、ご家族など複数の方でも相談に応じられるように、
相談コーナーを作っています。（事務局）

◆2014年10月12日 第69回 理事会開催◆

《報告事項》

- 1 2014年度香川県地域自殺対策緊急強化基金事業補助金概算払いについて
- 2 インターネット管理業務委託契約について
- 3 リビング新聞社からの技術援助依頼について
- 4 ブロシュール改訂、増刷について
- 5 毎日新聞社高松支局長による取材について

《審議事項》

第1号議案 認定NPO法人取得申請に関する事項

香川県県民活動・男女共同参画課へ申請書類をメールで送付したことが報告された。今後、専門家とのコンサルテーション契約を締結して助言・サポートを得ながら作業を進めていくことので了承された。

第2号議案 2014年度グリーンカウンセラー養成講座・基礎コースに関する事項

9月18日に、受講者数16名、講師陣10名で、標記養成講座が6回シリーズでスタートした。10月16日に中間講師会議を開催することと第5回と第6回の主講師の交替について説明があり了承された。

第3号議案 2014年度グリーンカウンセラー認定に関する事項

同資格認定規則に基づき、今年度の認定委員が選出され、近日中に第1回認定委員会を理事長が招集することので了承された。同資格認定規則第十二条により認定委員は年間を通して任命しておく必要があることので了承された。

第4号議案 高松市市民フェスティバルに関する事項

同実行委員会報告を踏まえ、今後、担当の植田理事から運営等に係るマンパワーを会員に呼びかけを行なうことので了承された。

第5号議案 2015年度自殺対策関連事業助成金事業の情報収集に関する事項

事務局長が県担当者に確認したところ、現段階では、来年度も自殺対策緊急強化基金事業の継続実施等については不明とのことであった。今後も、自殺対策関連助成金事業の情報を取っていくことので了承された。

第6号議案 相談担当者会議実施要領の改訂に関する事項

同実施要領に個別相談の文言を盛り込むこと、附則に改定期日を明記することので了承された。

◆2014年10月19日 第26回 相談担当者会開催◆

審議事項議題

1. 地域連携強化について

各事業のプロシユールの増刷も完了し、GWK事業説明を行う訪問先と訪問の方法、打ち合わせ会について話し合った。訪問先によって「どういうニーズを持っているか」が異なるので伝えていくことを検討する必要があるという意見がありました。訪問先、担当者、打ち合わせ会については、事務局で検討し、今年度だけでなく、連続しておこなっていくことが必要であることが確認された。

編集後記

難聴のお婆さんが、唯一楽しみにしていることがNHKの朝の連続テレビ小説だと言う方が入院しています。周りの人達に気遣いながら入院生活を送られ我慢強い女性です。その方が真っ赤な顔をして涙目になって怒っていました。その理由は体調不良ではなく、テレビの字幕が出ないということでした。私は早急に業者の人に連絡をとり字幕が出るようにしてもらいました。なんとか、昼の連続テレビ小説に間に合いほっとしました。それから、毎日お礼を言ってくれます。些細なこと・・・ですが、ご本人にとっては何より大切なことだったのです。毎日忙しく業務に追われていく中、相手の身になって考えるということをお忘れそうになりますが、このような出来事があると「急いでいるときこそ、しっかり相手の言うことを聴こう」と思います。

(編集担当 植村)